



毎年秋に開催している「じんぐうじまつり」と「観音祭」が十月八日(日曜日)に決定致しました。今年も稚児行列や火渡り行体験、出店など、楽しく美味しい、もちろんご利益も授かるお祭りをお楽しみください。

## 平和を祈る 良啓

八月十五日の終戦記念日に糸満市摩文仁にある平和祈念堂で沖縄宗教者の会主催「祈りと平和の集い」が開催されます。

戦後、高度経済成長により、物があふれ、豊かさで平和を享受している我々ですが、つい七十二年前には全島が焦土と化す、激しい地上戦が繰り広げられていた事を忘れてはなりません。また世界に目を向けると、各地では紛争や宗教間戦争、貧困など生まれ落ちた場所により、多くの不条理が存在しています。人類は、多くの事を歴史から学んできました。それが辛く、血生臭かったとしても、そこから目を背けるのではなくしっかりと見つめ、慈しみの心で対応する事が大事な事ではないでしょうか。

信仰が違う、肌の色が違う、出自が違う等、違いを挙げれば際限がありませんが、違いは間違いではありません。逆に良い事です。違い(多様性)は、これからの時代のキーワードになると言われています。違いを認め、受け入れるには大きな勇氣が必要ですが、それが出来たならば、平和な世界を築く事が出来ます。真言宗ではそれを密厳浄土と呼びます。浄土は、死後の世界ではありません。この世で体現するものです。

そして、この集いは県内の仏教、神道、キリスト教などの様々な宗教者が宗旨を超えて、激戦地摩文仁から平和を発信致します。これだけの宗教者が集う会は非常に珍しいです。各宗教の思想や人柄、衣装などを見学するだけでも、良い経験となりますので、是非、ご来場下さいませ。

※祈りと平和の集い 八月十五日(火)午後一時、参加費：無料

於..糸満市摩文仁平和祈念堂

## 十三仏紹介 ⑫大日如来 裕俊

十三仏とは、初七日から三十三回忌の追善供養を司る仏さまのことです。今回は、十三回忌の本尊「大日如来」様をご紹介します。

### ご真言

## おん ばざら だどばん

大日如来様は、サンスクリット語で「マハーヴァイローチャナ」といい、「真なる一切を照らし出す者」という意味があります。真言宗では大日如来様は宇宙そのものと考えられていて、仏教の開祖である釈迦如来様より上の最高位の仏様として信仰されています。これは、真言宗ではあらゆる仏様は大日如来様の化身であると考えられている為です。仏教を開いたお釈迦様をはじめ、全ての仏様は大日如来様が役割・目的に応じてお姿を変えられているという考え方です。

また、大日如来様にはふたつのお姿があります。真言宗の教えの元となっている二つのお経「金剛頂経」と「大日経」でのそれぞれのお姿「金剛界大日如来」と「胎藏界大日如来」です。悟りを得る為に必要な智慧を象徴する金剛界大日如来と、無限の慈悲の広がり象徴する胎藏界大日如来。このふたつの姿が揃って大日如来様を中心とする密教の世界が

